

# AIDS UPDATE

広島大学病院 エイズ医療対策室 内線5351  
中四国エイズセンターホームページ URL:<https://www.aids-chushi.or.jp>

## ■ HIVとSARS-Cov-2 (新型コロナウイルス)

エイズ医療対策室室長 藤井 輝久

みなさん、こんにちは。室長の藤井です。我々医療従事者だけでなく、高齢者を含む全ての世代に対して、SARS-Cov-2（以下、新型コロナウイルス）のワクチン接種が進んでいます。しかし、ワクチン効果はいつまで続くのか、はっきりとしたデータがありませんし、最近登場してきたデルタ株（別名:インド型、L452R）では、ワクチンの有効性が低下するといった報告もあるようです（但し、重症化は抑えているよう）。まだまだ予断の許さない状況は続くようで気が滅入ります。

さて、本院には200人弱のHIV感染症患者さんが通院しています。患者さんより“（新型）コロナにかかったらヤバイ？”とか“ワクチンって打った方がいいんですか？”“ワクチン打っても、効果があるんですか？”といった質問を受けるようになってきました。確かに、“免疫不全”であるこの疾患では、COVID-19を合併しやすいのか？重症化しやすいのか？ ワクチンでちゃんと抗体をつくるのか？ など、ご本人のみならず我々医療者にとっても疑問が多いです。

そこで、私なりに調べた結果について、ここでQ&A方式でお知らせしたいと思います。

### Q1. 新型コロナウイルスに感染しやすいのか？

「UNAIDS 2020 report」には、「これまでのところ、HIV陽性者は特にCOVID-19の感染リスクが高いということを示すエビデンスはなく、感染したとしても病状が他の人より悪くなるというエビデンスもありません。」と記述されています。感染しやすさは、一般の人と同じと考えてよいでしょう。

### Q2. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の重症化リスクがあるか？

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き. 第5.1版」の12頁に重症化のリスク因子が表で示されています。また今年のCROI

(Conference on Retroviruses & Opportunistic Infections)において、HIV陽性者及び固形臓器移植後の患者におけるCOVID-19の報告がありました。その報告では、HIV陰性の健常者と比較して、入院のリスクは1.32倍、人工呼吸器管理となるリスクは1.86倍（固形臓器移植後患者は、それぞれ1.69倍、1.96倍）でした。このことより、やはりリスク因子の一つと考えてよいと思います。

重症化のリスク因子	評価中の要注意な基礎疾患など
65歳以上の高齢者 悪性腫瘍 慢性閉塞性肺疾患(COPD) 慢性腎臓病 2型糖尿病 高血圧 脂質異常症 肥満(BMI 30以上) 喫煙 固形臓器移植後の免疫不全 妊娠後期	ステロイドや生物学的製剤の使用 HIV感染症 (特にCD4 <200 / $\mu$ L)

### Q3. ワクチン接種の副反応リスクは高いか？

アメリカCDCのHPには、「多くのHIV陽性者もワクチン接種の治験にエントリーされているが、今のところそのグループの安全性データが他のグループに比べて変わりはない」と記載されており、一般の人と同じと考えられます。

### Q4. ワクチン接種の効果はあるのか？

現在まで、ワクチン効果が一般に比べて悪い、といったデータはありません。そのことを踏まえ、本院では現在「HIV感染症患者及びHIV非感染者における抗SARS-Cov2抗体保有率の調査」（許可番号E-2249-1）を行っています。来年には興味深いデータをお知らせすることができると思います。

## せるまね使い方動画をYouTubeに公開！



エイズ医療対策室 ソーシャルワーカー 重信英子

このAIDS UPDATEの前号でご紹介しました、広島大学病院製作の【通院/服薬継続支援アプリ せるまね】ですが、おかげさまで多くの皆さまのご協力により、患者さん支援の一つとして定着して参りました。本当にありがとうございます。

### \*改めてせるまねをご紹介\*

「せるまね」は、抗HIV薬を服用しているHIV疾患患者さんの、通院と服薬を自身で管理できるアプリです。ソーシャルワーカーが支援している、自立支援医療制度の更新手続き忘れを防ぐためのアラーム機能も有しています。

### ◆せるまねの使い方URL：

<https://www.aids-chushi.or.jp/ippan/app/>

実はこの度、せるまねの使い方動画を制作し、YouTubeで配信致しました！！

本院薬剤師のSOUが、満を持してYouTubeデビューを果たした、記念すべき初作品となります！普段の業務では触れることのない撮影機材を前に、スタッフ一同緊張しながら撮影に挑んだのですが、思いの外楽しむことができました。

今回の動画制作で心掛けた点は、①患者さんご自身のタイミングで、操作確認をしながら動画を見ていただけること。②医療従事者とし

て、毎日の服薬継続に不安を感じている患者さんを応援すること。③より多くの患者さんに「せるまね」を周知すること。そして、何よりも丁寧に説明することを心掛けました。

この動画は、患者さんはもちろん、患者さんにアプリをご紹介される医療従事者の皆さまにも、ぜひ説明ツールとしてご活用して頂けますと幸いです。ご覧いただきましたら、患者さんやお隣のスタッフの方々に、ぜひご紹介してください。宜しくお願い致します。

### ◆せるまね使い方動画：

[https://www.youtube.com/watch?v=GBxFa\\_QE8ul](https://www.youtube.com/watch?v=GBxFa_QE8ul)

また、アプリの使い方や、YouTube動画へのご意見・ご感想等はエイズ医療対策室まで、お気軽にお寄せください。患者さんの生活がより充実したものに変わりますよう、今後とも尽力したいと思っております。



## 看護部エイズワーキングからの報告

こんにちは！エイズワーキンググループです。

私たちは、有志による課題活動グループで、HIV/AIDSに関する最新情報をもとに知識を深めたり、看護実践能力を高める活動に取り組んでいます。

活動の歴史は長く、2000年に産声を上げ、昨年には活動20周年の節目を迎えました。これを記念し、今年の3月に「エイズワーキング活動20年の歩み」を発行しました。

編集に際し、多くの先輩方が、HIV/AIDS患者への熱い看護の思いを繋ぎ続けてくださったことや、メンバーの入れ替わりを経て受け継がれてきたこと、そしてたくさんの方々のご支援をいただいたことを、改めて振り返る良い機会となりました。

HIV感染症が慢性疾患へと位置付けられた今日では、HIV感染者を取り巻く医療環境は大きく様変わりし、私たちエイズワーキングの活動も、転換期を迎えていると感じます。私たちに求められるものが何なのかを見極めつつ、等身大で、息の長い活動を目指すことも大切と感じています。

そんな中、今年度は新たに4名のメンバーを迎え、病棟や外来のHIV/AIDS診療に関わる看護師など、計15名で活動を継続しています。新しいメンバーも随時募集中です。「どんな雰囲気か、ちょっと覗いてみたい」なども大歓迎ですので、興味のあるかたは、ぜひご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしています。

【連絡先】正木佑実（9階西病棟 内線:5510）  
木下一枝（I 外来 PHS:4796）



### 看護部研修会報告会



### 日本エイズ学会学術集会への参加



# HIVカウンセリング研修会（初心者向け） 開催報告

エイズ医療対策室 臨床心理士 杉本悠貴恵

こんにちは。エイズ医療対策室の杉本です。今回は、研修会の報告をさせていただきます。6月に心理・福祉職向けの研修会をオンラインで開催しました。

この研修会は、HIV診療に携わって間もない心理・福祉職の方やHIVカウンセリングに興味のある方を対象にHIVの基礎から多職種連携といった応用までを網羅的に学ぶことができるプログラムとなっております。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、オンラインでの開催となりました。とは言っても、2日間の研修ですので非常に濃い（充実しているという意味で）スケジュールでしたが、23名もの方にご参加いただき、一緒に学びを深めることができました。

HIV領域は、薬害・セクシャリティ・認知機能障害・外国人・物質依存などなど…本当にさまざまなテーマと結びつきがあるので、心理・福祉職もHIV診療チームのメンバーとして支援を行っています。

今回、HIV診療に携わる心理・福祉職の方以外に、教育や福祉分野など他領域に勤務してい

る方がご参加くださったのも、多岐にわたるテーマに興味を持っていただけたのかなと思いました。

実際、研修終了後のアンケートでも、「知識のアップデートをすることができた」、「知識をグループワークを通してより理解を深めることができた」ととても嬉しい感想がありました。

ちょうど1年前。中四国地方でも、新型コロナウイルス感染拡大が起こり、集合形式での研修開催を中止とせざるを得ない状況でした。すべての研修会を中止にするわけにはいかない！と思い、『オンラインでの研修開催』を試みました。とはいっても、経験値ゼロでしたので、YouTube先生に色々とノウハウを教わり、スタッフと模索しながら開催をしてきました。まだまだオンライン初心者の私たちですが、コロナ禍でも皆様に知識のアップデートとなる機会を提供できればと思っています。

最後に…今年度もエイズ医療対策室では各職種向けの研修会を開催してまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております！

## 今後の研修会情報

- 心理・福祉職対象  
9/12（日）第1回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会
- 医師対象  
9/27（月）、28（火）中国四国地方エイズ診療医師のための研修会
- 福祉職対象  
10/16（土）HIV/AIDSソーシャルワーカー・ネットワーク会議、研修会

